

謹賀新年



大崎町長 東 靖弘

明けましておめでとございませう。皆様方におかれましては、ご家族おそろいで清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、皆様の日頃からの町政に対する深いご理解とご協力に対し、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、関東・東北豪雨や日本各地の火山噴火といった自然災害をはじめ、国内外での痛ましい事件・事故や紛争等が日々報道されましたが、県内においても、全島避難を余儀なくされた屋久島町口永良部島新岳の噴火や桜島の噴火レベル引き上げなど、多くの住民に影響をもたらしました。

一方、明るい話題としまして、大村智さんと梶田隆章さんの日本人科学者お二人の長年の研究が認められ、ノーベル賞を受賞されました。スポーツ界でもラグビー日本代表がワールドカップで歴史的な3勝をあげ、体操男子団体は37年ぶりの世界選手権優勝を果たしました。

また本県におきましても、磯地区の旧集成館をはじめとする『明治日本の産業革命遺産』がユネスコの世界文化遺産に登録されました。さらに、皇太子ご夫妻をお迎えして『国民文化祭・かごしま』が開催されましたが、本町総合体育館と

横瀬古墳でも『横瀬古墳とヤマト王権のつながり』日本列島南端の海上交流の歴史』を開催し、全国に向け本町の魅力を発信できたのではないかと思っております。

加えて、地球環境を考える自治体サミットも本町で開催され、北海道や徳島県などから12市町村の関係者が訪れ、リサイクル率8年連続日本一となった本町の取り組みを紹介しました。その中で大崎小学校6年生から給食の食べ残しを堆肥化してイチゴを栽培した取り組み等の事例発表があり、参加者から大変注目を浴びました。また、食糧自給率向上を図る取り組みを表彰する『フード・アクション・ニッポン・アワード』の商品部門で菜種油『ヤツタネ！菜ツタネ！』が最優秀賞を受賞し、さらに、町衛生自治会が『循環型社会形成推進功労者』として環境大臣表彰を受賞いたしました。これは、町民一人ひとりの環境問題に対する高い意識のもとで官民一体となって長年に渡りリサイクルに取り組んだ成果であり、受賞された関係者にお祝い申し上げますとともに、ご協力いただいている町民の皆様にお礼申し上げます。

さて、安倍政権が「アベノミクスは第